

長野の林業

平成30年1月10日発行
長野の林業編集委員会

No.336

もくじ



年頭のご挨拶	2
特集 長野県森林づくり県民税について	6
トピックス	
各地域での取組…大沢みどりの少年団が顕彰されました（佐久） ／あずみの里山市が開催されました（松本）	9
まつたけシンポジウム	10
メンタルヘルスに効果的！ 森林セラピー活用講座を銀座NAGANOが開催	11
県森連だより	18
長野県の木材市況	19
絵本の紹介…長野県緑の基金	20

新年 あけましておめでとうございます



写真提供：信州川上犬保存会

長野県天然記念物 川上犬

川上村に伝わる貴重な日本犬です。

年頭所感



中部森林管理局長
新島 俊哉

平成三十年の新春を迎え、皆様方と
りまして良き一年となりますことを御祈
念申し上げます。

さて、我が国の森林資源は、戦後造成
された人工林を中心に充実し、本格的な
利用期を迎えております。このこと自体
は喜ばしいことではあるのですが、昭和
二十〜三十年代、台風等により幾度も発
生した大惨事を繰り返さないためにも、
森林が環境財であることを忘れず、木材
の販売により再造林経費が森林所有者に
しつかり還元され、確実に再造林される
ことが必要です。

企業特別会計から一般会計に移行して
今年で六年目を迎える中部森林管理局
としては、徹底的なコスト縮減や、最も

森林所有者への還元が大きい製材等に使
われる木材(いわゆるA材)をいかに高く
買ってもらうか、といった民国共通の課
題解決に向け、伐採・造林一貫作業シス
テムの推進など無地拵え・無下刈りを目
指した各種取組や、林業事業体の生産性
向上、ニホンジカ被害対策、A材のブラ
ンド化などに率先してリスクをとって取
り組み、その成果は民有林の方々に普及
しているところです。

特に、A材については、フェアトレー
ドのように高くても消費者に買っていた
だけるよう、山から最終消費者まで一気
通貫の供給体制を作り上げ、その上で環
境財としてのストーリーを組み立て、高
齢級になる程、価値が上がるような販売
戦略を立てることが重要だと考えていま
す。これにより、森林所有者に再造林経
費が還元されるとともに、長伐期施業に
対する意欲が喚起され、齢級構成の平準
化が促進されるという効果が期待できま
す。この対応として、昨年開始したのが
「信州プレミアムカラマツ」であり、県内
の民有林の方々を力合わせて推進して
いるところです。

また、国有林は観光資源としてもご活
用いただけますが、それだけではなく、
職員は様々な地域で勤務をする機会が

あるため、地域の方々では気がつかない
「外」から見た地域の魅力をお伝えできる
スタッフとしても、地域関係者の皆様に
お力添えが出来ればと考えています。

地域の安全・安心という観点で申し上げ
ますと、平成二十九年七月九州北部豪
雨では二十四時間雨量が三万五千年確率
降雨というように、これまでに経験した
ことの無い雨がいつ、どこで降ってもおか
しくない状況にあります。このため、当
局では、国有林の有無にかかわらず、山
地災害が発生した初動段階において、森
林土木技術者等で編成する「山地災害対
応チーム(MDSAT)」を被災自治体へ
派遣するなど、引き続き、早期復旧に向
けた迅速かつ積極的な対応を行ってまい
る考えです。

県や市町村、関係団体、そして地域の
皆様と一緒に手を取り合って、地域の振
興や安全・安心のためにしつかりと取り
組んで参りたいと思っておりますので、皆様の
より一層のご理解・ご協力をお願いいた
します。

結びに、長野県の森林・林業・木材産
業の益々の発展と、皆様のご健勝、ご発
展を祈念申し上げます。新年のご挨拶
とさせていただきます。

新年の御挨拶



長野県林務部長
山崎 明

平成三十年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げますとともに、日頃から本県の森林・林業・木材産業に関わる施策の推進にあたり格別なる御支援と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本県の森林資源は、先人たちのためまぬ努力により育成が進められ、ようやく利用可能な段階を迎えています。その一方で、過疎化や所有者の世代交代、ライフスタイルの変化等により、森林と人とのつながり、関係性は大きく損なわれてきております。長野県にとって最大の資源は、広大な県土の八割を占める森林資源です。この森林資源は、所有者はもとより、地域にとってもかけがえのない財産であるべきです。本年を、足元にある森林の価値を見つめ直すきっかけの年にできればと願っております。

さて、本年は、県の新たな総合五年計画（「しあわせ信州創造プラン2021」）のスタートとなる年です。原案では、充実しつつある森林資源を持続的かつ効率的に活用していくための対策とともに、森林と人とのつながりの再構築に向けた施策を展開してまいりたいと考えております。特に、二〇三〇年を目途としたチャレンジプロジェクトにおいては、「美しく豊かな木と森の文化の再生・創造」として、木や森と人とのつながりの再生・創造や地域資源で自立した社会の構築を通じて、森林を多様な価値を持った姿へと変えていきたいと考えております。

また、長野県森林づくり県民税（森林税）は、平成三十年度から五年間、継続が決まりましたが、森林税においても、昨今の情勢を踏まえた様々な対策を講じてまいります。

まず、昨今のゲリラ豪雨等の発生状況等を踏まえ、「防災・減災」のための里山の整備を、科学的な知見のもとで進めてまいります。併せて、流木が被害拡大の一因ともなった教訓を踏まえ、河畔林の整備についても進めてまいります。また、地域と里山のつながりが疎遠になつてしまった状況を再生するために、「里山整備利用地域制度」を活用した住民等の協働による里山の整備・利活用を様々な観点から支援してまいります。さらに

は、観光資源としての景観の観点や、「信州やまほいく」など、様々な森林の整備や利活用を部局横断的に進めてまいります。超過課税をいたたく上では、森林の恩恵をより多くの皆様に実感いただけるような取組にすることが重要です。そのため、県民の皆様がその成果を実感できるように取組を推進してまいりたいと考えておりますので、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

先般、国におきましても森林環境税（仮称）が検討され、課税は平成三十六年度から開始されることとなりましたが、森林現場における諸課題に対応するため、森林環境譲与税（仮称）（国から市町村・県への譲与）は、先行して、平成三十一年度から、新たな森林管理制度の施行と併せて行うこととされました。県といたしましては、市町村が円滑に森林整備を行えるような体制の支援等に取り組んでまいります。

こうした取組を進める上では、県民の皆様からの林務行政に対する信頼が不可欠でありますので、引き続き事務処理の適正化を徹底し、「しごと改革」による業務の改善や職員の意識改革を行い、県民の皆様からの期待に応えられるよう、全力で森林・林業施策を推進してまいります。結びに、本年が皆様にとって実り多い年となりますよう御祈念し、年頭の御挨拶といたします。



私たち森林組合が 目指すもの



長野県森林組合連合会
代表理事 会長
藤原 忠彦

新年明けましておめでとうございませす。

皆様におかれましてはよき新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、長野県森林組合連合会及び県内十八森林組合の運営にあたり平素より格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年一月早々に米国大統領にドナルド・トランプ氏が就任し、TPPの離脱を表明したことにより、日本とEUとのEPA大枠合意で国内林業の対策強化が必須となりました。木材製品の価格競争が一段と激化することは明らかで、国際競争力を高めるため、森林組合自らも林業生産を更に効率化するなどの対応が急務となりました。

七月には大分県を中心に九州北部豪雨が発生し、森林組合でも尊い命が奪われました。改めて哀悼の意を表しますと共に、被災されました皆様方に心からお見舞い申し上げます。

土砂とともに立木が流れ下る様は改めて自然災害の恐ろしさと、森林整備を担う森林組合が生命に関わる大切な組織であることを再認識したところであります。

戦後先人達が今ある私たちのために植林し、脈々と守り育ててきた人工林は本格的な利用期を迎えようとしています。しかし、立木価格の長期低迷などから森林所有者の森林経営意欲は減退したままです。

そのような中で私たち森林組合は、組合員の負託により森林整備を絶え間なく続けておりますが、依然、森林資源の多くが間伐などの適切な整備が行われない箇所が多くみられ、地球温暖化防止や国土保全等の森林の持つ多面的機能が発揮されていない状況にあります。

こうした中で、昨年末に「森林づくり県民税」が、用途を改善した上で継続することが決まりました。また、全国の森林組合員百五十万人の悲願でありました「森林環境税(仮称)の創設」について

も三十年代税制改正大綱にその具体的な仕組みや時期などが明記され、益々私たち森林組合に係る責任の重さを痛感しております。

森林整備を推進するための安定的な財源が確保される見通しとなったことで、戦後造成された人工林を中心に、本格的な利用期を迎え、「伐る、使う、植える、育てる、伐る」といった循環・継続する林業経営を確立する第一歩を踏み出すこととなります。

この大事な年を迎え、私たち長野県内十八森林組合は、「長野県の豊かな森林を未来に引き継ぎ」「長野県の森林を守り育て、林業と山村を活性化することを目指してまいります。

昨年四月県内森林組合は国土の保全等に不可欠な森林整備事業を担う協同組合としての自覚を持って、県民の皆様への信頼に応えうる開かれた組織となるよう「行動宣言」を行いました。今年もこの宣言に則り誠実に事業を実行して参りますので、皆様の更なるご理解ご協力をお願い申し上げます。

結びに長野県の森林が豊かになりますます輝きを増し、災害のない実り多き年となると共に、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

人にやさしい木の文化と
社会をめざして



長野県木材協同組合連合会
理事長
宮崎 正毅

平成三十年の新春を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様方には、日頃より当連合会の活動に対し御支援と御協力を賜っておりますことに厚くお礼を申し上げます。

昨年は、一月に米国トランプ大統領の就任に始まり、農林業への影響が懸念される環太平洋パートナーシップ協定、日EU経済連携協定など、様々な動きがありました。景気回復における設備投資は「いざなぎ景気」同様の回復力を示したとされた一方、消費は伸び悩み地方の木材産業関係者の皆様には景気回復の実感が得られなかったのではないのでしょうか。

また、九州北部豪雨や相次ぐ大型台風

の到来に多くの方が被災されました。被害に遭われた皆様には心からお見舞い申し上げます。

こうした被害から改めて森林整備の大切さを実感した年であったと思えます。

さて、森林資源が充実する中、木材需要の太宗を占める新設住宅着工数は、九十万戸を超えるペースとなっており、森林・林業・木材産業界にとって木材需要の拡大と国産材の安定供給体制の確立は車の両輪であり、林業の活性化や地域経済の振興、そして森林整備の促進による国土保全機能の向上のためにも、県産材住宅の増大はもとより中長期的な視点に立った住宅以外の分野で木材需要の拡大対策が、これまで以上に求められています。

こうした中、昨年、国の林業関係六団体では「森林・林業の再生に向けた共同行動宣言二〇一七」を行い、「木材利用の拡大なくして森林・林業の活性化はありえない」との認識のもと、川上・川下の関係者が一体となって、もう一度木材を優先して利用する時代に変えていこうとの運動に取り組むこととしています。さらに、十一月、奈良県で開催されました全国木材産業振興大会では、人にやさ

しい木の文化と社会をめざして、「伐つて、使つて、植えて、育てる」という森林の循環利用の確立が重要で、「森林環境税」の実現、木材利用の大幅な拡大を実現するため、法律、制度の見直しを含めた木材利用拡大運動の展開等が決議されたところでもあります。

本連合会といたしましても、県に対して信濃美術館への県産材利用促進、長野県議会農政林務委員会との懇談会を通じて県産材利用促進の要請活動等を行うとともに、確かな品質で安心して県産材を利用いただくため、信州木材製品認証制度を推進しています。

また、新たな木材製品の開発を目指し、平成二十八年四月、建築基準法の大匠認定を取得した「信州型接着重ね梁」A、B型に加え、新たにC型の認定に取組んでいます。

コンクリート化社会から木材を利用するウッドファースト社会、「人にやさしい木の文化と社会」の実現に向け微力ながら取組んでまいります。

結びに、皆様にとりまして本年が良い年となりますよう、また、長野県の森林・林業・木材産業の発展と皆様方の御健勝と御多幸を心より御祈念申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。

森林づくり県民税 継続が決定しました

森林税を活用したこれまでの取組

県土の八割を森林が占める本県では、先人たちのたゆまぬ努力により育まれてきた豊かな森林を健全な姿で次の世代に引き継ぐため、県民全体で森林づくりを支える仕組みとして、平成二十年度から長野県森林づくり県民税(以下「森林税」といいます。)を導入し、それまで取り組むことができなかった「喫緊の課題を抱える里山の森林」の整備を進めてきました。

その結果、今年度までの二期十年間で三二、二一〇ha(当初目標の八四%)の里山の森林整備(間伐)が実施できる見込みであり、里山の多面的機能の向上に一定の成果を上げることができました。

一方で、所有者の不在村化や境界の不明瞭化などの山離れが一層深刻化し、より条件が困難な森林が未整備のまま残されています。

また、間伐材の利活用の取組が十分に進まなかったことや、間伐面積が目標に達していないことなどから、活用されていない森林税が基金として約四・九億円残っているなど、反省すべき課題も残っています。

森林税については、平成二十九年度に課税期限を迎えることか

ら、平成三十年以降の森林税のあり方について、これまでの取組や様々なご意見を踏まえ、改めてゼロベースで超過課税の必要性等の検討を行ってきました。

その結果、防災・減災の観点で森林整備を進めることが急務であること、過疎化や高齢化が進行する山村地域では住民協働による里山の整備が必要なことなど、平成三十年以降も森林税による里山の整備や利活用の取組を進めることが必要であると考え、課税期間を五年間延長するための条例案を長野県議会十一月定例会に提出し、県議会での審議を経て森林税を継続することが決定しました。



これからの森林税

第三期目となる平成三十一年度からの森林税については、課税期間を平成三十年四月一日から五年間とし、県民税均等割の超過課税方式により、税額はこれまで同様、個人県民税が年額五百円、法人県民税が均等割額の5%になります。

次期森林税の大きな特徴は、里山での森林の整備などの従来の取組に加え、多様な県民ニーズに応えるために、里山資源の薪利用や、教育・観光等の分野での森林の利活用へと用途を広げたことにあります。



地域住民協働の里山整備



子育て、教育分野での森林の利活用

さらに、里山整備事業の要件を見直し、活用しやすくすることで、より多くの方々の方々の森林づくりへの参画を期待するとともに、県産材を活用した公共サインの設置や子ども居場所の木質化など、身近な場所で森林の恩恵や木材の良さを実感いただけるよう取り組んでいきたいと考えています。

その一方で、検討の過程で森林税の運用に関する厳しいご意見もお寄せいただいていることから、こうしたご意見やこれまでの反省を踏まえて、森林税を活用した事業の適正な執行や透明性の確保、毎年度、事業の柔軟な見直しを図るための検証及び評価の取組を強化することとしています。

様々な働きを通じて、私たちの暮らしを支える森林の保全と利活用に取り組むことで、森林税が県民の皆様にとって、より身近なものとして実感いただけるよう努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

【森林政策課】

里山整備事業の主な要件の見直し

区分	平成30年度以降の森林税	従来
1箇所当たりの整備面積	0.1ha以上	1ha以上
所有者との協定締結期間	10年間	20年間
条件整備(集約化等)の対象面積	面積要件なし	同意取得面積10ha以上
条件整備(集約化等)後に間伐を実施する期限	上限5年間	翌年度
里山整備利用地域の認定面積	5ha以上	30ha以上

平成30年度以降の森林づくり県民税の仕組み

<p>用途 (森林づくり県民税活用事業)</p>	<p>① 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備 防災・減災の観点での里山の森林整備や河畔林の整備、里山整備利用地域制度を活用した住民協働による里山の整備</p> <p>② 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用 児童センターなどの子どもの居場所や、観光地における道路等の公共サインなどの木質化、里山資源の薪利用や松くい虫被害木を活用するための仕組みづくり</p> <p>③ 森林づくりに関わる人材の育成 森林の整備や多面的利活用を推進するリーダー、多くの関係者をコーディネートする人材等の育成等</p> <p>④ 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用 学校林や信州やまほいく認定園のフィールド整備、観光地の景観に適合した街路樹や森林の整備、森林セラピー基地の整備等による森林の利活用</p> <p>⑤ 市町村に対する財政調整的視点での支援 財政調整を図るための制度として、市町村が地域固有の重要課題に対応</p> <p>⑥ 森林づくりの理解を深める普及啓発及び森林税の評価・検証 森林づくりに関する普及啓発、企業等との連携による森林づくり、森林税の評価・検証</p>								
<p>課税方式 (※変更なし)</p>	<p>個人県民税及び法人県民税の均等割の超過（上乘せ）課税方式</p>								
<p>納税義務者 (※変更なし)</p>	<p>(個人) 県内に住所、家屋敷または事務所等を有する個人 約 109 万人※ (法人) 県内に事務所等を有する法人 約 5 万 1 千法人</p> <p>※ 個人の納税義務者は県民全員ではなく、県民税均等割を納めている方(県民の約半数)が対象です。次のア、イ、ウのいずれかに該当し非課税となる方や、税法上の控除対象配偶者・扶養親族になっている方で次のウに該当する方には課税されません。</p> <p>ア 生活保護法の規定による生活扶助を受けている方 イ 障がい者、未成年者、寡婦又は寡夫で、前年の合計所得金額が125万円以下の方 ウ 前年の合計所得金額が、市町村の条例で定める金額以下の方</p>								
<p>超過税額 (※変更なし)</p>	<p>(個人) 年額：500円 (法人) 年額：現行の均等割額の5%相当額（1,000円～40,000円）</p>								
<p>税收規模</p>	<table border="1" data-bbox="414 1509 1093 1617"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>個人</th> <th>法人</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間 (平年度)</td> <td>約 5.5 億円</td> <td>約 1.2 億円</td> <td>約 6.7 億円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成 29 年度の森林税収入見込みを基準に試算。</p>	区分	個人	法人	計	年間 (平年度)	約 5.5 億円	約 1.2 億円	約 6.7 億円
区分	個人	法人	計						
年間 (平年度)	約 5.5 億円	約 1.2 億円	約 6.7 億円						
<p>実施期間</p>	<p>平成30年4月1日から5年間 (個人) 平成30年度分から平成34年度分まで (法人) 平成30年4月1日から平成35年3月31日の間に開始する各事業年度分</p>								
<p>管理方法等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用途を明確にするため、『長野県森林づくり県民税基金』を設置して税收を管理し、事業の内容等について公表するとともに、事業実施後の成果の検証等を行うため、県民の代表等による第三者機関を設置します。 ・ 森林税の運用の透明性を高め、より効果的な活用を図るため、副知事を会長とする庁内推進組織を設置し、森林税を活用した事業についての事業成果の検証や必要な制度・事業の見直し等を行います。 								

大沢みどりの少年団(佐久市)

が顕彰されました

大沢みどりの少年団が、昭和五十六年の団設立以来長年の継続した活動が評価され十一月二十六日、一般財団法人木原営林大和事業財団から、県内のみどりの少年団では初めての顕彰がなされました。

式においては、財団の杉浦常務理事より「地域ぐるみで長年に渡り継続されてきた活動が少年団活動により引継がれ、地域の伝統が守られていくことは、とても意義深い。」とお言葉をいただきました。

大沢地区では一戸一人の義務出役での植林や育林する「村ぐるみで協力しての森づくり」を理念に掲げ、明治十三年(当時・大沢村)から人工造林を開始し、以降大沢財産区となった現在でも、先人のこうしたスピリッツが引継がれており、成熟したカラマツ林を主伐した後は、地域ぐるみで植林するなど持続的な林業経営かつ健全な森林づくりに取組まれています。

この理念を後世に引継ぐため、大沢財産区が事務局となり少年団が設立され、地域や保護者が一体となって活動しています。

今後も植林、下刈り、除伐などの実践的な森林整備の体験を通して、地域の森林を守り郷土を愛する心が育まれるよう更なる飛躍を期待しています。

〈木原営林大和事業財団・昭和四十一年十二月に木原崇雲翁(設立者)が三重県他二県の所有林六百六十七haを寄付しこれを基本財源に設立。公益事業として全国の林業関係の研究等の助成の他、昭和五十七年から毎年みどりの少年団の顕彰を行っている。〉



木原財団



太いのが切れた!

【長野県みどりの少年団連盟】

里山再生の取組「あづみの里山市」

が開催されました

安曇野市では、市内の里山の重要性和現状を再認識しながら、里山を守るためにどのような活動をしていくかを明らかにするため、「安曇野市里山再生計画」を策定しています。

現在、この計画を推進するため、具体的な5つのプロジェクトにより、多くの取組みを実施しています。

その中のひとつの取組として、市内の里山にある木を、気軽に「安曇野材」として購入できる木材市場「あづみの里山市」を平成二十九年十月二十二日(日)穂高林友ハウス工業敷地内で開催しました。

今回で二回目となる「あづみの里山市」は、台風前日の雨の中ではありましたが、三百名を超える皆様が来場し、松枯れ材を中心とした板材などの地域材を多くの方が購入していました。

また、地域材による木工体験や薪の販売、松枯れ材の積木ワークショップなどの多くの催しにより盛り上がり、地元の木の良さを身近に感じていただいたイベントとなっています。

来場者には、地元猟友会によるイノシシ汁の無料配布もあり、安曇野市の里山の恵みを味わう一日となりました。

このような里山再生に向けた取組を行うことで、多くの皆さんが里山に関心を持っていただけのこととを期待し、今後も里山再生の取組を推進していきたいと思えます。



積木ワークショップの様子



安曇野材オークションの様子

【安曇野市 耕地林務課】

平成二十九年度 信州まつたけ シンポジウムが開催されました

【信州の木活用課】

はじめに

十二月八日に塩尻市の林業総合センターにおいて、長野県特用林産振興会主催の平成二十九年度「信州まつたけシンポジウム」が開催されました。このシンポジウムは十一年連続で全国一のまつたけ生産量を誇る長野県において、各地域のまつたけ生産の取組や試験研究の成果を発表し、まつたけ生産者の技術向上を目的とするものです。当日は長野県特用林産振興会の会員を主に一〇九人が参加されました。

最初に林和弘会長が「今年のまつたけ生産量が振るわず、大変残念でありましたが、不作にめげず前向きな姿勢で『つくるマツタケ』に取り組んでほしい」と挨拶されました。実際に今年の長野県におけるまつたけ生産量は五・三tと推計されています。近年の生産量は平均で約二〇tなので今年是不作といえる年でした。例年より九月の降水量が少ないことが原因と考えられます。各地域振興局の報告から北信・東信・中信地域は例年の一割未満、南信地域で二割程度の生産量であったと推測されます。しかし市場における国産まつたけの極端な供給不足から、取引価格は一キロ当たり三万〜十五万円という情報がありました。平成二十八年平均価格の二万二千七百四十三円と比較すると今年の相場はかなり高かったと思われれます。

活動事例発表と試験研究発表

諏訪市の原隆一氏が「諏訪地域のまつたけ生産について」と題し諏訪西山地域でのまつたけ生産について講演されました。地形・風土がまつたけ生産に与える影響など詳細に解説されました。続いて駒ヶ根市の林東洋氏は、自身が主催する「まつの会」の活動を中心に講演されました。補助金などを有効に活用し、また藤原儀兵衛氏の指導を仰ぎまつたけ生産に精進されているとのことでした。

また林業総合センター特産部から、県内各地の試験地におけるマツタケの発生状況について報告がありました。各試験地の収穫量は発生無しから対平年比五〜一%とばらつきはあるものの、総じて不作でした。各試験地の気象データから東信・中信の試験地では九月の降水量が例年の半分とかなり少なく、東信・中信地域の不作状況を裏付ける結果となりました。また今年は気温の上下動が大きかったことがわかっています。過去の収穫量と気温の上下動の関係を解析したところ、地温の上下動の大きな年は収穫量も少なくなる傾向がありました。今年も9月の少雨と気温の上下動がまつたけ発生に負の影響を与えたと考えられるようです。

I W E M M 10 (*1)

森林総合絵研究所きのこ・森林微生物研究領域長の山中高史博士から「第10回食用菌根性きのこに関する国際ワークショップ（略称 I W E M M 10）」が



参加者で満員の会場



WEMM10の説明をする
アレクシス事務局長と山中領域長

平成三十一年に長野県において開催されると発表されました。I WEMMはトリユフ、マツタケなどの食用菌根性きのこの栽培に関する専門家を集める主要な国際大会で、一九九八年のスウェーデン大会以来、二〇一七年のメキシコ大会まで九カ国で開催され開催回数は九回を数えます。第十回目となるI WEMM10は、「Forest resources for our future (我々の未来に活かす森林資源)」をテーマとし、我が国において経済的価値の高い森林資源であるマツタケ、ホンシメジ、トリユフなどを中心に各国の研究について情報を交換し、ホスト国である日本の研究の現状について現地視察を行う予定です。

当日シンポジウムに参加していたI WEMM国際委員会のアレクシス・ゲラン・ラゲッテ事務局長が流ちょうな日本語で「皆さんこんにちは。再来年の秋、長野でまた会えることを楽しみにしています」と挨拶されると会場は大いに盛り上がりました。

お知らせ

シンポジウムの最後に意見交換が行われました。事前に参加者の皆様からいただいた質問項目には研究者も舌を巻くような高度な内容のものが多く、まつたけ生産者の研究意欲とその強い熱意が感じられるシンポジウムとなりました。

(*1) International Workshop of Edible Mycorrhiza Mushroom 10

第10回食用菌根性きのこに関する国際ワークショップ

「メンタルヘルスに効果的！企業等の森林セラピー®活用講座in銀座NAGANO」が開催されました

長野県には、森林浴の癒しの効果を科学的に解明した森林セラピー基地®、森林セラピーロード®が全国で最多の十か所あり、森林セラピーガイド等が案内を行っています。

本年度、九月六日、十月十二日と二日間、東京の銀座NAGANOにて、森林セラピー®を活用し企業の健康経営に役立ててもらうために、「企業等の森林セラピー®活用講座」と題し、株式会社グリーンドック代表取締役春日未歩子氏を招き、講座を開催しました。春日氏は、森林セラピスト®のほか、精神保健福祉士などの資格を有し森林を利用し、こころと身体も健康になる方法を重点的に講演いただきました。

両日併せて関東の企業十八社三十四名の参加があり、森林の魅力と活用について興味深く聴いていただけた講座となりました。

【信州の木活用課】



講師の春日未歩子氏



会場での様子



謹賀新年



一般社団法人
長野県林業
コンサルタント協会
理事長 羽田健一郎

一般財団法人
長野県林業労働財団
長野県林業労働力確保支援センター
理事長 中村慎
役員 同

長野県森林組合連合会
会長 藤原忠彦
副会長 林和弘
専務理事 滝澤栄智
常務理事 安原輝明

長野県林業団体協議会
会長 滝澤栄智
副会長 宮崎正毅
副会長 木下修

一般社団法人
長野県林業センター
理事長 藤原忠彦
副理事長 宮崎正毅
副理事長 木下修
常務理事 塩入茂

林業・木材製造業労働災害防止協会
支部長 宮崎毅
副支部長 滝澤正
専務理事 大宮博利
事務局長 宮崎智

信州木材認証製品センター
理事長 宮崎毅
副理事長 滝澤正
副理事長 齋藤廣
専務理事 宮崎弘
事務局長 本崎寿

流通部会
部長 野村弘
木造住宅部会
部長 田中一興

素材生産部会
部長 由井正隆
土木用材部会
部長 松本寿弘

長野県木材協同組合連合会
理事長 宮崎正彦
副理事長 佐原良透
副理事長 都築健一郎
副理事長 大久保男
副理事長 岡島一
専務理事 松崎照幸
事務局長 宮崎弘

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林整備センター
長野県整備事務所
所長 山崎英志
長野県水源林造林協議会
会長 中村武雄

長野県山林種苗協同組合
理事長 富澤修一
組合員 同

一般社団法人
信州の緑と野鳥を守る会
理事長 小林富夫

一般社団法人
長野県猟友会
会長 赤津安正

長野県治山林道協会
会長 羽田健一郎
役員 同

国内産ヒノキ間伐材使用
高圧木毛セメント板製造・販売
タケムラ
竹村工業株式会社
下伊那郡松川町上片桐4604
TEL 0265-36-6111
FAX 0265-36-6555
info@takemura.co.jp

レストラ
四季の味 樹木里
南佐久南部森林組合
代表理事 藤原忠彦
組合長 藤原忠彦

南佐久中部森林組合
代表理事 黒澤和夫
組合長 黒澤和夫

南佐久北部森林組合
代表理事 佐々木定男
組合長 佐々木定男

謹賀新年



一般社団法人

長野県林業普及協会

会長 長林 和弘

長野県林業経営者協会

会長 長神 戸直日

長野県特用林産振興会

会長 長林 和弘

**長野県林業研究グループ
連絡協議会**

会長 長田 中忠

長野県林業士会

会長 飯森 幸彦

**長野県生産森林組合
等団体有林連絡協議会**

会長 長鮎 澤光昭

長野県森林組合長会

会長 長林 和弘

長野県造林協会

会長 長藤 原忠彦

**長野県林業
薬剤防除協会**

会長 長牧 司

佐久森林林業振興会

役員一同

上小森林業振興会

会長 長羽 田健一郎
役員一同

**諏訪地域森林づくり
林業振興会**

役員一同

上伊那山林協会

役員一同

下伊那山林協会

役員一同

木曾山林協会

会長 長貴 舟豊
役員一同

緑を育て山を守る

佐久森林組合

代表理事 山岸 喜昭
役員一同

信州上小森林組合

緑の担い手
代表理事 倉沢 明人
組合長
役員一同

諏訪森林組合

役員一同

木から学び、木から発想する新しい展開。

woodlink
ウッドリンク株式会社

■本社 富山県射水市寺塚原415
住宅資材事業部 Tel. 0766-84-4477 Fax. 0766-84-4479
営業店 ・富山店 ・金沢店 ・福井店 ・上越店
■製材事業部 富山県高岡市能町2000
Tel. 0766-21-2628 Fax. 0766-25-0891



謹賀新年



松本地域森林 林業振興会

役員一同

長野地方緑化 推進委員会

会長 伊藤博文
役員一同

北佐久木材協同組合

理事長 伊藤晴彦
組合員一同
事務所 小諸市大字平原四ツ谷原九六七―七
☎(〇二六七)二二二―二二二
FAX(〇二六七)二四一〇六八三

上小木材協同組合

理事長 大久保陸男
組合員一同
事務所 上田市芳田一八八―一
☎(〇二六八)三五五―一四〇〇

南安曇木材協同組合

理事長 佐原良彦
安曇野市豊科四九三―一三九
株佐原建設内
☎(〇二六三)七二二―一〇〇

飯伊木材協同組合

理事長 林宗広
事務局 飯田市常盤町三〇
(飯伊森林組合内)
☎(〇二六五)三三三―三三六―

北信木材生産 センター協同組合

代表理事 竹下元治
専務理事 小林健
長野市大字穂保字中ノ配三四二

木曾木材生産事業協会

会長 神山清二
木曾郡上松町荻原中島一五七九―三

東信素材生産事業 協同組合

理事長 星野勝好
組合員一同
事務所 小諸市大字平原四ツ谷原九九五―一
☎(〇二六七)二二二―五〇四五
FAX(〇二六七)二二二―五〇三二

農林中央金庫

関東業務部長 有田吉弘

瑞穂木材株式会社

木材製材販売・住宅資材販売
代表取締役 宮崎正毅
下高井郡木島平村大字穂高三三八―一
☎(〇二六九)八二一―三二一―一八
FAX(〇二六九)八二一―四一五六

宮澤木材産業株式会社

代表取締役 宮澤遥
長野市中曾根二一八八―一五
☎(〇二六三)三九一―〇五八八
FAX(〇二六三)三九一―三三八〇
環境事業部 ☎(〇二六三)三九一―三二八〇
FAX(〇二六三)三九一―三二五二

齋藤木材工業株式会社

代表取締役社長 齋藤廣
〒386-0603 長野県小県郡長和町古町四二九九
TEL(〇二六八)六八二―三五五二
FAX(〇二六八)六八二―〇二〇二

のむら木材株式会社

信州木材製品認証工場
代表取締役 野村弘
〒399-5604 長野県木曾郡上松町正島町一―八―一
TEL(〇二六四)五二二―四一七
FAX(〇二六四)五二二―三三〇

有限会社 田中製材所

代表取締役 田中一興
〒399-0027 松本市寿南一丁目七―二二
TEL(〇二六三)五八二―〇六六
FAX(〇二六三)五八二―〇七三

上伊那森林組合

もりもり上伊那
代表理事 白鳥孝
組合長 白鳥孝
役員一同

飯伊森林組合

代表理事 林和弘
代表理事 古田英士
顧問 古田英士
役員一同

根羽村森林組合

信州根羽すぎ・根羽ひのき
代表理事 大久保憲一
組合長 大久保憲一
役員一同
下伊那郡根羽村四〇七―二二〇
☎(〇二六五)四九二―二二〇

杭の
リプロ

今年も山で
大活躍!

軽量タイプ
持ち運びもラクラク!

かぐや杭 仮杭

ご連絡頂ければ無料配送
(TEL・FAX・Mail 何でもOK)

最新版
総合
カタログ
進呈

地球にやさしい
株式会社 リプロ
〒701-0213 岡山市南区中畦1186
TEL.086-298-2281(代) FAX.086-298-2121
e-mail info@ripro.co.jp ホームページ www.ripro.co.jp

謹賀新年



一般財団法人

日本森林林業振興会

支部長 土田 薫
 長野市稲葉二四一三三
 TEL(〇二六)二二六〇九一五
 FAX(〇二六)二二六〇九二七六

一般社団法人

長野林業土木協会

役員一同
 長野市稲葉母袋沖六一二二二
 TEL(〇二六)二二二一六二二二
 FAX(〇二六)二二二一三六二五

長野国有林

森林整備協会

会長 長花 見隆 夫
 副会長 林 和 弘

日本林業土木(株)

長野出張所

出張所
 長野市岡田町三〇一六
 長野県林業センタービル内
 ☎(〇二六)二二七〇一八五

みどり産業株式会社

代表取締役社長 洞 和 雄

本社/長野市大字稲葉二四一三三(林秀丸)
 ☎(〇二六)二二四一八七〇八
 FAX(〇二六)二二三一七九八九

株式会社 長野林友

代表取締役 清水 信之
 長野市大字稲葉二四一三三(林友ビル)
 ☎(〇二六)二二六〇七七四一
 FAX(〇二六)二二六〇七七四三

一般社団法人

日本森林技術協会

長野事務所 職員一同

建設コンサルタント
 (森林整備・治山林道・環境事業等
 森林の総合調査設計)

株式会社 中部森林技術コンサルタント

支店長 長谷川 洋
 長野市稲葉中千田沖二〇四〇一
 ☎(〇二六)二二四一八七〇一

株式会社 森林テクニクス

長野支店
 長野市松岡二丁目六番三四号
 TEL(〇二六)二四一九二七二

新しい時代の森林の保全・管理・活用に
 関する技術を提供します

ワイヤーロープカマシカ用防護柵の販売
 落石防護施設的设计・施工・資材販売

東京戸張株式会社

東京都港区浜松町一丁目一七番六号
 TEL(〇三)五四〇五一一〇八
 FAX(〇三)五四〇五一一〇八九

株式会社 林友

代表取締役社長 穂 莉 淳
 〒390 0841 松本市 渚 四一〇一
 ☎(〇二六)二二五〇一七二
 FAX(〇二六)二二五〇一七二

木材、建材、住器(サツ)販売
 プレカット(構造 羽柄) 住宅用パネル

株式会社 マルオカ

代表取締役社長 岡 健一郎
 長野市吉田五十二五二八
 ☎(〇二六)二四三二二二二八

株式会社 吉本

代表取締役 由 井 正 隆
 南佐久郡佐久穂町大字平林二二二
 ☎(〇二六)八六一四三〇五
 FAX(〇二六)八六一五五四四

株式会社 クラサワ

代表取締役 倉 澤 賢一郎
 長野市三輪一七七一
 ☎(〇二六)二四一三二五四九
 FAX(〇二六)二四一三二五〇七

おかげさまで創業一十二年
 住まいに関する総合資材販売

グリーンプラマーク取得
 松くい虫防除シートは
 まつのごじょう
 地球にやさしい
 生分解性プラスチック製の
 くりきりシート
 信濃化学工業株式会社
 〒381-0045
 長野県長野市桐原1-2-12
 TEL 026-243-1115
 FAX 026-243-1520

和合森林組合

代表理事 村澤 博光
 組合長 村澤 博光
 役員一同

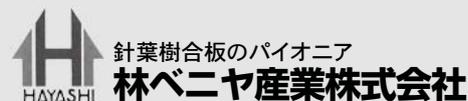
木曾森林組合

代表理事 神村 光雄
 組合長 神村 光雄

木曾南部森林組合

代表理事 坂家 重吉
 組合長 坂家 重吉
 役員一同

信州の木認証合板で 地産地消の緑の循環



(本 社) 06-6228-1401
 (北陸営業所) 0767-52-4376



謹賀新年



環境にやさしいシカの忌避剤
 農林水産省登録第22312号
ランテクター水和剤
 シカ・ウサギ・カモシカの食害から守る忌避剤
 農林水産省登録第17911号
シラム水和剤
 コニファー水和剤
 販売元 **大同商事株式会社**
 東京都港区浜松町一丁目十番八号
 電話 03 5470 8491

国有林材大径木建築材
 スギ・ヒノキ・カラマツ
有限会社 伊藤商店
 代表取締役 伊藤 定三
 上水内郡信濃町柏原二六八〇一
 ☎(〇二六)二五五三〇九七
 FAX(〇)二五五五八三二

長野県森連指定
 林業機械化協会会員
 チェンソー・刈払機・集材機
 ワイヤロープ・林業機械器具
有限会社 ガモウ商会
 代表取締役 蒲 生 浩 明
 松本市波田中波田五二八〇一
 ☎(〇二六三)九二二二四六八

信州・松本平の豊かな風景をつくる
株式会社 柳沢林業
 松本市岡田下岡田七七四〇一
 ☎(〇二六三)八七五三六二

森林整備素材生産(産廃)収集運搬業
 支障木伐採 処理 薪取売
オガサワラ林業有限
 代表取締役 小笠原 良一
 松本市中山四一三五一四
 ☎(〇二六三)五八五九三九

有限会社 須江林産
 代表取締役 須江 豊
 〒385 0022 佐久市岩村田一二六七一一
 ☎(〇二六七)六七二四一六
 FAX(〇)六七二四〇六

有限会社 中島林業
 代表取締役 中島 武 東
 佐久市取出町二〇三一一七
 ☎(〇二六七)六二一五七〇〇

唐松・杉・桧各種素材丸太・製材品
 組建物・看板・加工一般・施工一式
 新型インサイジング
 (角材及び円柱可能)
 防腐加圧処理 A.C.Q.その他
 ※加圧処理は、長さ16mまでできます
 ウッドレリーフ製作
大栄産業株式会社
 松本市波田二九五一一三七
 ☎(〇二六三)九二一五〇五一
 FAX(〇)九二一五八〇九
 ホームページアドレス <http://www.daisangy.co.jp>

自然の恵みそのままに...
 日本産・原木栽培

 家庭用 贈答みやげ用 業務用
フルタヤ椎茸株式会社
 Tel.0260-24-2033 Fax.0260-24-2833
 〒399-1612 長野県下伊那郡阿南町新野 2451-8
 www.furutaya.com

“自然と共に”
 NPO法人 **森林環境**
 理事長 湯沢 要次
 長野県駒ヶ根市経塚七一一一
 ☎(〇二六五)八一四八〇三

サンドキーパーマット
 SN緑化万能マット
 カゴ枠・大型カゴ枠・パネルフトン籠
株式会社 酒井工業所
 松本市村井町南三丁目一〇番 四号
 ☎(〇二六三)五八二二二〇
 FAX(〇)八六一三三八一

損害保険代理店
 環境事業計画施工・墓石
株式会社 モリレン長野
 代表取締役 田中 高德
 長野市中御所岡田町三〇一六
 ☎(〇二六)二六七一六六三六
 FAX(〇)二二六二二二二五

林業用薬剤と
 グリーンメンテナンス
 松くい虫防除・芝地総合管理
 非農耕地雑草防除
 緑と土と水を守る
 長野県森連指定業者
 長野県林業薬剤防除協会員
アプロ信州株式会社
 本社 0268-23-2135 FAX0268-23-2153
 中信営業所 0263-77-8863 FAX0263-77-8893

共栄火災海上保険株式会社
 甲信越支店
 支店長 中山 重雄
 長野市南県町六九三三四
 ☎(〇二六)二三四二二一六一
 FAX(〇)二三四二二一六三

南木曾町森林組合
 代表理事 藤原 和年
 組合長 藤原 和年
 役員一同

松本広域森林組合
 代表理事 中村 善行
 組合長 中村 善行
 役員一同

長野森林組合
 代表理事 酒井 美明
 組合長 酒井 美明
 役員一同

北信州森林組合
 代表理事 中山 稿一
 組合長 中山 稿一
 役員一同

栄村森林組合
 代表理事 桑原 重雄
 組合長 桑原 重雄

平成30年 長野県内木材市売日程 2018

	飯伊木材 共販所	木曽官材市売				長野県森連			
		本部事務所 製品	荻原事務所 原木	坂下事務所 原木	国有林土場等 活用委託販売 市売日(原木)	伊那木材センター 原木	中信木材センター 原木	製品	北信木材センター 原木
1月	初市 18(木)	初市 第21回全木連産材需要 拡大製材品特別展示会 27(土)	初市 30(火)	初市 16(火)	初市 10(水)	初市 (1,000回記念市) 12(金)	初市 11(木) 31(水)		初市 10(水) 広葉樹祭り 31(水)
2月	15(木)	特選材市 24(土)	27(火)	2(金) 21(水)	6(火)	1(木) 20(火)	19(月)		20(火)
3月	15(木)	年度末謝恩市 17(土)	20(火)	7(水) 22(木)	6(火)	9(金) 29(木)	広葉樹祭り 8(木) 28(水)		13(火) 29(木)
4月	19(木)	花まつり 第44回全木協連優良 産材製材品展示会 21(土)	春季謝恩市 24(火)	5(木) 春季謝恩市 25(水)	17(火)	17(火)	16(月)		18(水)
5月	17(木)	新緑まつり 19(土)	22(火)	10(木) 24(木)	15(火)	10(木) 30(水)	9(水) 29(火)		10(木) 31(木)
6月	15(金)	荷主会結成 50周年記念市 23(土)	26(火)	7(木) 21(木)	12(火)	19(火)	18(月)		20(水)
7月	12(木)	第51回木材まつり 28(土)	31(火)	5(木) 中元謝恩市 25(水)	3(火) 24(火)	11(水) 31(火)	10(火) 30(月)		11(水) 26(木)
8月	10(金)	特選材市 25(土)	28(火)	7(火) 23(木)	21(火)	28(火)	27(月)	森の恵み ふれあい祭り 4(土)	23(木)
9月	12(水)	特選材市 22(土)	26(水)	6(木) 開設20周年記念市 27(木)	11(火)	14(金)	13(木)		11(火) 27(木)
10月	18(木)	開設51周年記念市 20(土)	創立63周年記念市 第34回日本美林まつり 23(火)	11(木) 25(木)	16(火)	3(水) 23(火)	2(火) 22(月)		開設60周年記念市 25(木)
11月	15(木)	えびすこう謝恩市 17(土)	20(火)	8(木) 27(火)	6(火)	開設57周年記念市 20(火)	開設56周年 記念市 19(月)		15(木)
12月	納市 19(水)	納市 15(土)	納市 18(火)	納市 12(水)	納市 4(火)	納市 13(木)	納市 12(水)		納市 11(火)

飯伊森林組合 〒395-0033 飯田市常盤町30 TEL (0265) 22-0604 FAX (0265) 22-0612 共販所 〒395-1101 下伊那郡喬木村400-14 TEL (0265) 33-3361 FAX (0265) 33-3494	◎売り出し 製品(セリ)通年9時・原木(入札)通年13時 国有林土場等活用委託販売市売日等については、中興森林管理協会の都合により変更することもあります。 木曽官材市売協同組合 本部事務所 〒399-5604 長野県木曽郡上松町正島町2-45 TEL 0264-52-2480(内) FAX 0264-52-2324 荻原事務所 〒399-5608 長野県木曽郡上松町大字荻原字中島1431の1 TEL 0264-52-2483(内) FAX 0264-52-4885 坂下事務所 〒509-9232 岐阜県中津川市坂下133-1 TEL 0573-75-3178(内) FAX 0573-75-3172 ホームページアドレス http://www.kisokan.com	長野県森林組合連合会 TEL (026) 226-2504 FAX (026) 226-2225 〒380-8567 長野市岡田町30-16 (長野県林業センタービル内) ☆最新市売情報については当会ホームページをご覧ください。	
	伊那木材センター 〒399-4432 伊那市東春近2973 TEL (0265) 72-2684 FAX (0265) 76-8759	中信木材センター 〒399-8102 安曇野市三郷野4000 TEL (0263) 77-2347 FAX (0263) 77-2349	北信木材センター 〒381-0003 長野市穂保中ノ配342-1 TEL (026) 295-5546 FAX (026) 295-5547

第999回 市況表 納市

(平成29年12月14日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター
TEL0265-72-2684 Fax 0265-76-8759



○ 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考
ひのき	3.0	直	14~16	12,000	10,000	△	直造材をお願いします。柱材価格横ばい。
		直	18~22	14,500	13,500	○	
	4.0	直	14~16	13,000	8,000	○	
		直	18~22	18,000	15,000	○	φ14cm~φ22cmの直材に需要あり。
すぎ	4.0	直	24~28	14,000	13,000	○	
		直	30上	28,900	20,000	○	
		直	22~28	11,000	9,500	-	直造材をお願いします。
さわら	4.0	直	30上	12,000	10,000	-	
		直	20上	10,000	7,000	-	
くろのみ	3.0	直	28上	8,000	6,000	-	良材に限り高値。
		直	30上	41,000		○	
みざら	4.0	直	30上	25,000		○	需要期になり、良材に高値。
		直	24上	23,500		○	
なり	4.0	直	40上	18,000		○	
		直	18上	13,000	8,500	○	材が不足しています。出品をお願いします。(直材に限る)
あかまつ	4.0	直	30上	23,300		○	
		直	18~22	25,300	8,000	○	
		直	40上	48,800		○	
しかり	4.0	直	20~28	6,000	7,000	-	需要期になりました。伐採される方はご相談下さい。胸高径90cm以上の大径材を探しております。
		直	30上	11,000	8,000	-	
		直	40上	16,000	8,000	-	
しかり	4.0	直	14~16	8,000	4,000	○	需要あり。積極的な出品よろしくをお願いします。
		直	18	13,000	10,000	○	
		直	20上	13,000	10,000	○	
しかり	4.0	直	50上	16,500		○	(良材)
		直	20上	16,500		○	

出品量1,493㎡ 販売量1,489㎡ 落札率99% 買い方 30社

今年一年優良材をご出品いただきありがとうございました。職員一同感謝いたします。今回の市売りでは、からまつ中心の市売りとなり、下目材、中目材共に引き合いがあり、応札も活発でした。また需要期となった広葉樹(くろのみ、なり)にも高値がみられました。ひのきに関しては価格横ばいの状態が続いています。次回、当センターでは初市(1000回記念市)を行ないます。是非、良材の出品をよろしくをお願いします。今年一年本当にありがとうございました。尚、出材には合法認定業者の登録をお願いしますとともに、出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書の提出をお願いします。(安全のため荷下ろし、積み込みの際には止り止めを使用をよろしくをお願いします。)

第1001回 市況表 納市

(平成29年12月13日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター
Tel 0263-77-2347 Fax 77-2349



○ 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16~18	11,000	9,000	-	3.0m×14~18cm柱取り引合いがあります。20cm上は4.0m造材してください。
		直	30~48	14,000	10,000	-	
	4.0~7.0	元	54~98	45,000		-	
ひのき	3.0	直	20上	14,000	13,000	-	材不足しています。材不足が並材値
		直	20~28	18,000	14,000	-	段横ばい。
	4.0~6.0	元	30~62	64,000	20,000	-	
からまつ	4.0	込	6~13	12,000	8,000	-	材不足しています。細物5cm~13cm引合い強し。ご出品をお願いします。
		直	14~18	14,000	10,000	-	
		直	20上	16,000	12,000	-	
あかまつ	4.0	直	14~18	6,000	5,000	-	
		直	20~40	12,000	7,000	-	
		直	18~24	8,000	6,000	-	伐期になりましたので伐採予定がある場合はお問い合わせください。又、胸高径90cm以上の大径材探しております。
しかり	6.0~9.0	直	26上	25,000	8,000	-	
		直	20~46	25,000	13,000	-	
しかり	2.0~5.4	込	16~50	56,000	18,000	-	
		込	18~44	55,000	20,000	○	
しかり	1.2~5.4	込	26~100	150,000	36,000	○	
		込	26~38	48,000	12,000	○	

出品量 4,646㎡ 販売量 4,133㎡ 落札率 89% 買い方 46社

平成29年度開催いたしました17回の市売りにおいて、国有林・森林組合をはじめ、皆様より多量の出品をいただき約7万㎡の木材を取扱うことができました。職員一同心より御礼申し上げます。平成30年度も、引き続き有利販売に努めてまいりますので、御出品の程よろしくをお願いします。尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることをコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第1033回 市況表 納市

(平成29年12月14日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター
Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547



○ 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16~18	13,000	9,000	-	柱材需要あり。直造材をお願いします。
		直	20上	13,500	10,000	-	直造材をお願いします。
	4.0	込	8~13	5,500	4,500	-	需要あり。出品願います。
		直	14~20	12,500	9,500	-	出品願います。
からまつ	3.0	直	22~28	14,000	11,000	-	出品願います。
		直	30上	18,000	11,000	-	直造材で出品願います。
	4.0	直	14~18	6,000	4,000	-	
		直	20上	11,000	8,000	-	
しかり	3.0	込	9~13	9,500	6,000	-	細物直造材を心がけて下さい。
		直	14~18	11,000	8,000	-	直造材をお願いします。
	4.0	直	6~13	11,000	6,000	-	需要あり。直造材を心がけて下さい。
		直	14~18	12,500	9,000	-	出品願います。
ひのき	4.0	直	20上	20,000	13,000	-	需要あり。積極的に出品願います。
		直	14~18	6,000	5,000	-	
	4.0	直	20上	13,500	12,000	-	
		直	34	23,600		-	需要あり。事前にご相談ください。
ひのき	4.0	直	36	25,200		-	
		直	16~18	17,000		-	
げやき	4.0	直	20~28	16,000		-	
		直	30上	24,000		-	
		直	20上	15,000		-	
くろのみ	3.4	直	74	146,100		-	一本単価
		直	40	111,100		-	一本単価
くろのみ	4.0	直	40	81,100		-	
		直	40	81,100		-	

出品量4,660㎡ 販売量4,634㎡ 落札率99.4% 買い方 50社

今回は、当木材センター初出品の「信州プレミアムカラマツ」をはじめ、多くの良材をご出品いただき、今年の締めくくりには大変大きな市売りとなりました。市況として、スギについては、4.0mの中目材に高値が見られました。一方、カラマツについては、前回同様引き合いが強く、高値で安定しておりますので、引き続き出品をお願いします。また、「信州プレミアムカラマツ」については、かなりの高値がつきましたので、今後も積極的に出品をお願いします。なお、候補材の伐採を予定されている方は、事前にご相談をお願いします。当木材センターでは、来年1月31日に「広葉樹祭り」を開催する予定となっており、高値が期待できますので、積極的にご出品いただけますようお願い申し上げます。今回で本年の市売りも最後となりました。毎回盛大な市売りができるのも出荷者の皆様のおかげと改めて感謝申し上げます。来年も引き続き当木材センターにご協力よろしくをお願いします。(お問い合わせ) 合法認定事業者の登録をお願いしますとともに、出荷時にはその都度必ず「合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の納品書の提出をお願いします。

第494回 木材共販市況表 納市

(平成29年12月19日実施)

出品量 2,550㎡ 買い方 21社 落札率 88.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円)	平均値 (円)	平均石値 (円)	備考
ひのき	2.0	直	26~30	21,000	13,000	3,640	
			14	9,000	8,000	2,240	
			16	13,000	11,000	3,080	
			18~24	23,000	17,500	4,900	
			26~28	17,500	16,500	4,620	
			30上	27,000	23,000	6,440	
	4.0	直	16~22	15,000	13,000	3,640	
			24~28	15,000	13,000	3,640	
			30上	27,000	18,000	5,040	
			16~22	20,000	17,500	4,900	
			24~28	30,500	24,500	6,860	
			30上	63,000	35,000	9,800	
6.0	直	12~14	9,000	8,000	2,240		
		16~22	15,000	13,500	3,780		
		24~28	17,500	13,500	3,780		
		56	220,000				
		12下	360	300		一本売り	
		300					
すぎ	4.0	込直	16~18	8,500	7,500	2,100	
		込直	20~22	10,500	8,000	2,240	
		直	24~28	12,500	11,000	3,080	
		直	30上	16,500	12,500	3,500	
		直	24~36	15,000	12,000	3,360	
		直	30~36	15,000	12,000	3,360	
しかり	3.0	直	18~22	8,000	7,500	2,100	
			24~32	11,000	8,000	2,240	
			14~22	7,500	6,000	1,680	
			12~14	5,500	5,000	1,400	
			16	8,500	6,000	1,680	
			18~28	12,800	9,000	2,520	
くろのみ	4.0	直	30上	12,800	9,500	2,660	
			14~30	5,000	4,000	1,120	
			12下	320	270		一本売り
			20~28	28,000	20,000	5,600	
			20~28	6,000	5,000	1,400	
			30~38	11,000	9,000	2,520	
あかまつ	4.0	直	40上	12,500	10,000	2,800	
			直	20~28	6,000	5,000	1,400

出荷量増加。ひのき、引き続き出荷や少なく、良材に応じ集中。すぎ、引き続き出荷量多いが、価格は横ばい。あかまつ出荷もある、良材少なく価格伸びず。からまつ引き合いあり、価格は横ばい。1年間出荷協力いただきありがとうございました。

前作”森のくまさん“から千曲川源流の旅を終えた親子熊と妖精たちは木曾の森へとたどり着き、御嶽山の御来光やライチョウとの出逢いなど、木曾谷の豊かな自然を感じることができる作品です。

公益財団法人長野県緑の基金が贈る
木が伝えてくれる物語 7

長野県木曾地域の森林と木曾川源流域をめぐる物語

森のくまさん

木曾物語

絵・文 藤岡牧夫

昔から人々によって大切に守り、育まれてきた木曾の森林、山、山、山の深い谷に流れる木曾川の源流域や山奥で、森のくまさんと妖精たちが出会ったものは—四季を彩る美しい風景や植物、生き物たちとの交流、感動の出合いがいっぱいです！森のくまさんといっしょに、木曾の森に出かけませんか！



最新刊

絵本作家自ら森の中を歩き、取材して紡ぎだされた物語。森のくまさんと妖精たちの体験やいろいろな出合いを通して、子どもたちの心に命を育む森林の大切さや思いやりの愛の芽が生まれますように—

木が伝えてくれる物語シリーズ 既刊本



1. 太一と夜泣き松 (大鹿村)



2. おおまきの頂がきこえる (阿智村)



3. うえんじいさまのき (塩尻市)



4. まんげつやくそく (飯山市)



5. こっぼとじっさま (根羽村)



6. 森のくまさん (千曲川)

● 企画・出版 公益財団法人 長野県緑の基金

本書の売り上げの一部は「緑の基金」を通じて森林づくりや子どもたちの環境教育に役立てられます。



* 本書のお買い求め・お問い合わせは *

公益財団法人長野県緑の基金

Tel026-232-0111 (内線4819) Fax026-234-0330

Email : green@midori-joho.gr.jp